

第15回支部懇談会議事録（案）

日 時 平成27年12月11日（金）午後1時～2時45分

場 所 日本材料学会会議室

出席者 武正文夫(副会長・主査)、北村隆行(会長)、田中和人(庶務理事)、田邊裕貴(会計理事)、佐々木克彦(北海道支部長)、笹川和彦(東北支部長)、小茂鳥 潤(関東支部長代理)、國枝 稔(東海支部長代理)、門前亮一(北陸信越支部長)、北條正樹(関西支部長)、藤井 堅(中国支部長)、氏家 勲(四国支部長)、中村祐三(九州支部長代理)

以上13名 事務局(増永千春)

議 事

1. 第14回支部懇談会議事録について

第14回支部懇談会議事録について確認した。

2. 会員異動状況

過去3年間の支部会員異動状況の推移について説明があり、ここ数年、正会員数が50名ずつ程度減少している旨説明があった。

3. 各支部の状況報告

各支部長より支部の状況報告があった。

○北海道支部(佐々木支部長)

唯一HPが無かった支部であるが、更新など今後改善していく予定。

支部所属の会員構成は学校関係者が大半を占める。もともと人数は少ないが若い教員が増えたので増加しているが、今後定年の方が増えるため減少に転じる可能性が高い。

塑性加工学会とのジョイントで、講演会3回、講演会・見学会1回を開催、フォーラムの協賛を行った。

○東北支部(笹川支部長)

講演会を1回主催し、3件の共催、後援事業などを実施した。

○関東支部(小茂鳥支部長代理)

次年度から若手の常議員が増える。常議員会は5～6回開催。

例年、学生交流会を開催しており、今年度は東京都市大学で開催。ポスターセッション・懇親会を実施し、賞の授与を行った。受賞者の副賞は学生会員会費1年分としている。若い会員を引きつけるための企画をやっていききたい。具体的には若い教員に常議員になってもらうなどを考えている。

○東海支部(國枝支部長代理)

50周年記念行事として第10回学術講演会を2016年3月に開催予定、イブニングセミナー2回、講演会・見学会2回を開催している。学術講演会では、優秀講演賞(技術部門、学術部門)を設定。

○北陸信越支部(門前支部長)

新幹線が通りは良くなったが、常議員は固定のメンバーになっており、若手がない。企業常議員は新潟に1名おられる。幹事会、常議員会2回ずつ開催。

講演会は各県ごとに最低1回開催。

新潟県では、溶接学会と共催企画、石川県では、機械学会、精密工学会と共催で講演会を開催。

学生会員増強を目的として支部奨学賞を設定している。また、支部活性化のため正会員・賛助会員を対象として支部技術奨励賞も設定しているが、該当者がおられなかった。

○関西支部(北條支部長)

28名の常議員のうち10名が企業の方。幹事は7名で3名が企業の方。任期3年でまわしているが2/3程度が助教レベルの方になっており、企画能力が十分ではない。常議員会、幹事会を5回ずつ開催。

若手シンポ、見学会の開催や、疲労との共催で講習会を年1回開催(20名程度)、2年に1回は機械学会と交代で、破壊力学講習会(80から90名程度)を開催している。

親子見学会を10月に開催した。

○中国支部（藤井支部長）

5月に総会。常議員は55名で、4つの地域に分かれている。常議員のうち企業2名ずつの8名程度。職務幹事会を2回開催。会議の時にも誰かが話題提供するようなシステムを検討中。11月に講習会。九州支部と合同研究会を2回開催。

○四国支部（氏家支部長）

4月に支部学術講演会を開催し、2件の学生の優秀発表賞。3回の常議員会。10月には先端技術懇談会を開催の予定である。部門と共催の講習会は今年はない。小学生対象の大学体験プログラム、ロボットセミナーの協賛、徳島での国際会議の協賛。

○九州支部（中村支部長代理）

常議員は40名だが集まったことはない。20名に減らす予定。交通費を支給すると破綻するので、支部学術講演会・総会で集まるスタイルに変更。大分で市民参加型技術懇話会（53名の参加）開催、第2回学術講演会・総会を開催し第1回より参加者、学生発表が増えた。北九州で「初めての金属疲労」開催予定、二度目の支部表彰として2名を挙げ、表彰対象は若手も重視する。講演会では若干名の学生に優秀賞をあげる予定。連携企画として中国支部と2回開催、今後も継続していく予定。連携事業で補助金が減ると計画が難しいので配慮をお願いしたい。

4. 理事推薦枠の件

武正副会長から、役員候補者推薦委員会規程、内規の改正案が説明され原案どおり了解された。理事には学会全体の運営を担ってもらう必要があり支部の代表ではないこと、本部からの情報伝達や本部への要望については、理事の有無に寄らず支部担当副会長に橋渡し役を担っていただきたいなどの意見がだされた。

5. その他（連絡事項）

下記の事項について田中庶務理事より説明があった。

○平成28年度連携企画事業募集について

来年1月に募集案内を送信する予定である。平成28年度も採択5件程度、助成額上限は50,000円、予算総額は250,000円。

○学生会員B会費無料キャンペーン

平成28、29年度の2年間で行う学生会員B会費無料キャンペーンの説明があり、登録の呼びかけがあった。

○第2回材料WEEK

部門との連携なども含めて支部からも企画をあげて頂くよう依頼があった。開催曜日に土曜日を含めて欲しいとの希望があった。